

廃棄超硬合金のリサイクルによる再生超硬合金の製造技術の開発
(事前評価)

質問

回答

D委員	どこまで、粉末化は進んでいるのですか？	WC-Co超硬合金をSn含浸によりWCとCo-Snに分離し、その後Co-SnをSiと反応させ、SnとCo-Siに分離します。
	Co-Si、Snはそれぞれどう処理するのですか？	Co-Siはまだ考えておりません。しかし、Snは再び必ず含浸のSn浴として利用可能です。
	再生した粉末の靱性はどうですか？	まだ、評価しておりません。
F委員	オリジナルと再生品の価格差や品質差はどうですか？	JIS規格レベルのクリアは可能と考えております。ですが、一般品より機械特性などで劣ると思われるので、再生品を認知してもらい、安さを売りにしようと考えております。
B委員	事業を開始して一年目ですが、データなどはどうなっているのですか？	研究室で再生した再生粉末は、市販品1.0 μ mとほぼ同じ粒度分布でした。ただし、測定条件の見直しが必要と考えております。後ほどデータを提出する予定です。 (11/6(火) Eメールによる添付にて、部会出席委員に粒度分布測定データと説明文を送付済みです。)
	粒度が違う物が集まった場合の対応はどうするのですか？また、用途により粒径調整などするのですか？	粒度調整はすでに行っております。用途による区別はまだ未対応です。
E委員	商品化したものはあるのですか？	まだありません。
副所長	再粉化技術はどこのものですか？	岩手大学です。
C委員	再生品は性能は劣るかもしれませんが、安価で提供できれば需要はあるので、がんばって取り組んでください。	
A委員	粒度分布など評価はどうしているのですか？	難しいのですが、現在取り組んでおります。